

令和 3 年度市町決算見込及び健全化判断比率見込等について

1 要旨・目的

県内市町の普通会計及び地方公営企業の令和 3 年度決算及びこれに基づく財政健全化判断比率の見込等について、概要をまとめたので報告する。

2 概要

(1) 対象

ア 普通会計決算

県内市町

イ 地方公営企業決算

地方公営企業法を適用した県内市町及び一部事務組合の地方公営企業

(2) 対象年度

令和 3 年度

(3) 決算等の概要

ア 普通会計決算

普通会計の決算状況は、歳入が 1 兆 6,326 億円（前年比 91.6%）、歳出が 1 兆 5,806 億円（前年比 90.5%）となり、歳入歳出差引から翌年度に繰り越すべき財源を除いた実質収支は、287 億 74 百万円（前年比 172.1%）、前年度に比べ 120 億 52 百万円増加した。

イ 地方公営企業決算

公営企業の経営状況は、経常収益が 2,053 億 79 百万円（前年比 100.7%）、経常費用が 1,928 億 96 百万円（前年比 101.0%）となり、経常損益は 124 億 83 百万円（前年比 95.1%）、前年度に比べ 6 億 37 百万円減少した。

ウ 健全化判断比率等

県内各市町の令和 3 年度決算における健全化判断比率は、いずれも早期健全化基準等を下回っている。

(4) 決算等の詳細

別紙のとおり

I 普通会計決算見込

1 概要

- 令和3年度の県内23市町決算は、特別定額給付金に係る国庫支出金及び同事業費の減などにより、歳入歳出ともに減少した。
- 歳入歳出差引から翌年度に繰越すべき財源を除いた実質収支は、前年度に比べ120億5千2百万円（+72.1%）増加し、全団体黒字であった。

（単位：百万円，%）

区 分	令和3年度 ①	令和2年度 ②	増減額 ③ (①-②)	増減率 ③/②*100
歳入合計 A	1,632,693	1,782,017	▲ 149,324	▲ 8.4
歳出合計 B	1,580,659	1,746,274	▲ 165,615	▲ 9.5
歳入歳出差引 C (A-B)	52,034	35,743	16,291	45.6
翌年度に繰越すべき財源 D	23,260	19,021	4,239	22.3
実質収支 C-D	28,774	16,722	12,052	72.1

※項目ごとに百万円単位で四捨五入しているため、差引等において一致しないことがある。

2 歳入

- 歳入合計は、前年度と比べ1,493億2千4百万円（▲8.4%）減少した。

【内訳】

- ・ 地方税は、令和2年の給与所得の減少等に伴い所得割が減少したものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に係る徴収猶予の特例措置期間が終了したことに伴い、固定資産税収入が増加したことから、前年度と比べ12億6千万円（+0.3%）増加した。
- ・ 県税交付金等は、地方消費税交付金や法人事業税交付金等の増により、前年度と比べ105億5千8百万円（+12.1%）増加した。
- ・ 地方交付税は、普通交付税及び特別交付税の増により、前年度と比べ338億8千4百万円（+16.5%）増加した。
- ・ 国県支出金は、特別定額給付金事業費・事務費補助金等の皆減により、前年度と比べ1,959億5千4百万円（▲28.9%）減少した。
- ・ 地方債は、合併特例事業債の減等により、前年度と比べ78億2千6百万円（▲4.4%）減少した。
- ・ その他歳入は、繰越金の増等により、前年度と比べ87億5千4百万円（+5.7%）増加した。

（単位：百万円，%）

区 分	令和3年度 ①		令和2年度 ②		増減額 ③ (①-②)	増減率 ③/②*100
	構成比	構成比				
地 方 税	482,271	29.5	481,011	27.0	1,260	0.3
県 税 交 付 金 等	97,595	6.0	87,037	4.9	10,558	12.1
地 方 交 付 税	239,530	14.7	205,646	11.5	33,884	16.5
国 県 支 出 金	481,831	29.5	677,785	38.0	▲ 195,954	▲ 28.9
地 方 債	168,100	10.3	175,926	9.9	▲ 7,826	▲ 4.4
うち合併特例事業債	5,869	0.4	13,682	0.8	▲ 7,813	▲ 57.1
うち臨時財政対策債	51,223	3.1	48,898	2.7	2,325	4.8
そ の 他 歳 入	163,366	10.0	154,612	8.7	8,754	5.7
うち繰入金	14,233	0.9	17,822	1.0	▲ 3,589	▲ 20.1
うち繰越金	34,109	2.1	28,027	1.6	6,082	21.7
歳 入 合 計	1,632,693	100.0	1,782,017	100.0	▲ 149,324	▲ 8.4

※項目ごとに百万円単位で四捨五入しているため、差引等において一致しないことがある。

3 歳出

○ 歳出合計は、前年度と比べ1,656億1千5百万円（▲9.5%）減少した。

【内訳】

- ・ 人件費は、退職金の減（▲3億9千1百万円）があったものの、会計年度任用職員の給与等の増により、前年度並みとなった。
- ・ 扶助費は、住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業による社会福祉費の増、子育て世帯臨時特別給付金給付事業による児童福祉費の増等により、前年度と比べ712億9千9百万円（+21.4%）増加した。
- ・ 公債費は、臨時財政対策債償還金の増等により、前年度と比べ61億7百万円（+3.8%）増加した。
- ・ 投資的経費のうち普通建設事業費は、防災行政無線の更新整備や、本庁舎施設維持整備事業の増等により、前年度と比べ59億5千2百万円（+3.5%）増加し、災害復旧事業費は令和3年8月豪雨災害等に係る事業の増等により、前年度と比べ11億9千8百万円（+3.7%）増加した。
- ・ その他経費は、特別定額給付金に係る事業費の皆減等により、前年度と比べ2,502億1千9百万円（▲31.9%）減少した。

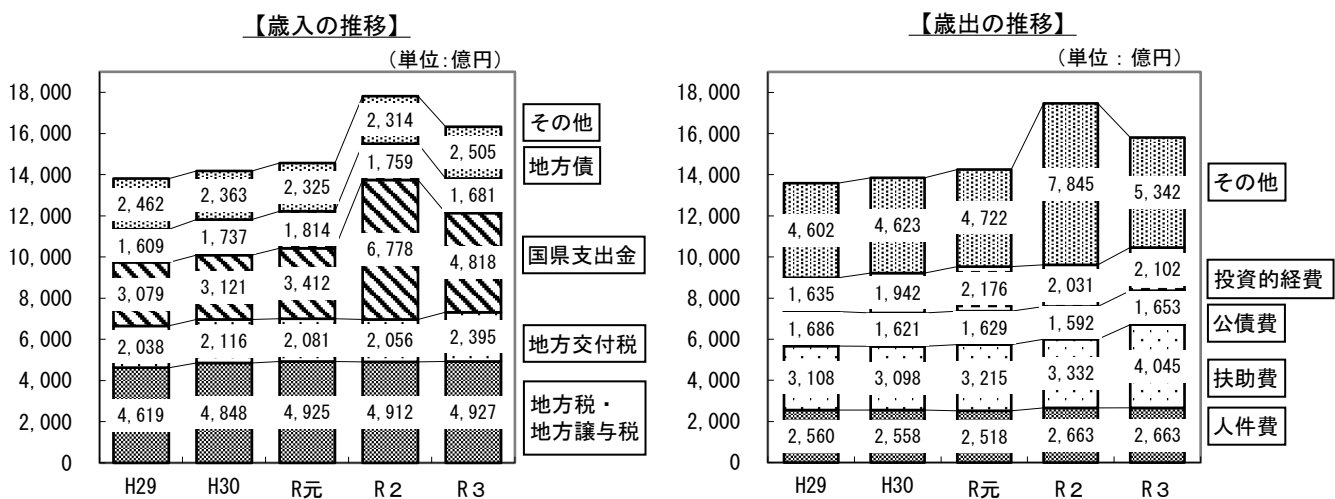
（単位：百万円，%）

区 分	令和3年度		令和2年度		増減額 ③(①-②)	増減率 ③/②*100
	①	構成比	②	構成比		
義務的経費	836,187	52.9	758,733	43.4	77,454	10.2
人件費	266,336	16.8	266,288	15.2	48	0.0
扶助費	404,514	25.6	333,215	19.1	71,299	21.4
公債費	165,337	10.5	159,230	9.1	6,107	3.8
投資的経費	210,225	13.3	203,075	11.6	7,150	3.5
うち普通建設事業費	176,610	11.2	170,658	9.8	5,952	3.5
うち補助事業費	78,283	5.0	72,945	4.2	5,338	7.3
うち単独事業費	98,327	6.2	97,713	5.6	614	0.6
うち災害復旧事業費	33,615	2.1	32,417	1.9	1,198	3.7
その他経費	534,247	33.8	784,466	44.9	▲250,219	▲31.9
歳出合計	1,580,659	100.0	1,746,274	100.0	▲165,615	▲9.5

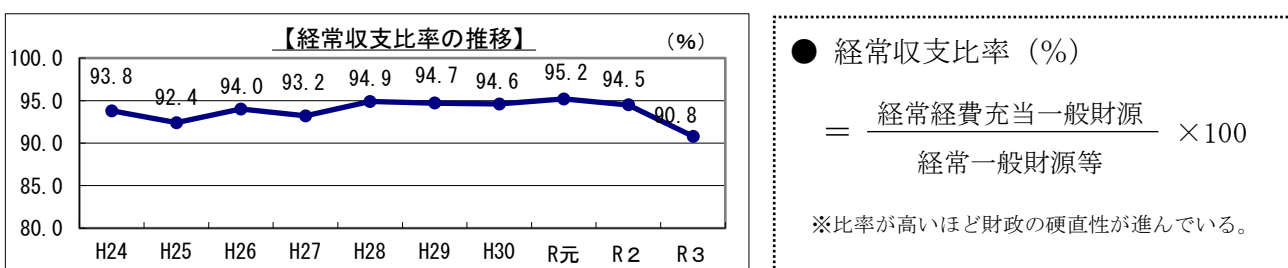
※ 項目ごとに百万円単位で四捨五入しているため、差引等において一致しないことがある。

4 財政指標の推移

(1) 歳入・歳出の推移



(2) 経常収支比率の推移



II 地方公営企業（法適用）決算見込

1 概要

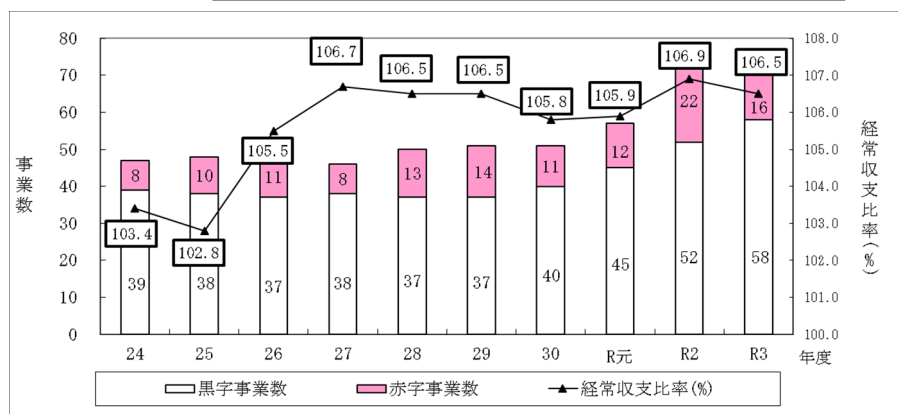
- 経常収益は2,053億7千9百万円で、前年度と比べ13億4千7百万円（0.7%）の増加、経常費用は1,928億9千6百万円で、前年度と比べ19億8千4百万円（1.0%）の増加となった。
- 経常収益から経常費用を引いた経常損益は、前年度と比べ、6億3千7百万円（▲4.9%）減少し、全体では124億8千3百万円の黒字となっている。
- 経常損失を生じた赤字事業数は16事業で、前年度から6事業減少した。
- 経常収支比率については、106.5%で前年度比0.4%ポイント減となった。

（単位：百万円，%）

区 分	令和3年度 ①	令和2年度 ②	増減額 ③（①-②）	増減率 ③/②*100
全 事 業 数	74	74	0	0.0
経常収益 A	205,379	204,032	1,347	0.7
うち営業収益 B	156,728	156,263	465	0.3
経常費用 C	192,896	190,912	1,984	1.0
経常損益（A-C） D	12,483	13,120	▲637	▲4.9
Dの経常利益 E	12,750	13,734	▲984	▲7.2
内訳経常損失 F	267	614	▲347	▲56.5
経常損失を生じた事業数	16	22	▲6	▲27.3
経常収支比率（A/C）	106.5	106.9	▲0.4	

※項目ごとに百万円単位で四捨五入しているため、差引等において一致しないことがある。

【赤字・黒字別事業数及び経常収支比率の推移】



$$\text{○ 経常収支比率(\%)} = \frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$$

※黒字の場合は100%を上回る。

2 事業別の決算見込

- 赤字事業は、水道事業が2事業、病院事業が2事業、観光事業が1事業、下水道事業が10事業、その他事業が1事業となっている。
- 累積欠損金を有する事業は22事業で、金額は48億9千6百万円となった。また、事業別では、病院事業が28億7千7百万円で、全体の約6割を占めている。
- 不良債務を有する事業は2事業となっている。

（単位：百万円，%）

事業名	事業数 うち赤字	経常収益 ①	経常費用 ②	経常損益 ①-②	経常収支比率 ①/②*100	累積欠損金		不良債務	
						事業数	金額	事業数	金額
水道	19	2	59,776	55,803	3,973	1	151	0	0
工業用水道	3	0	4,067	2,985	1,082	0	0	0	0
病院	10	2	57,502	54,508	2,995	6	2,877	0	0
観光	1	1	12	51	▲39	1	853	0	0
下水道	39	10	83,927	79,455	4,472	13	1,014	2	90
その他	2	1	95	95	0	1	1	0	0
合計	74	16	205,379	192,896	12,483	22	4,896	2	90

※累積欠損金 = 当年度未処理欠損金（各事業年度の損失（赤字）額の累積）

※不良債務 = 流動負債-流動資産（翌年度繰越財源を除く。）

※項目ごとに百万円単位で四捨五入しているため、差引等において一致しないことがある。

Ⅲ 健全化判断比率等

○ 県内各市町の令和3年度決算における健全化判断比率は、いずれも財政健全化計画の策定が必要となる早期健全化基準を下回っている。

- 実質赤字比率**（早期健全化基準：11.25～15%以上，財政再生基準：20%以上）
 全団体黒字であり，実質赤字は発生していない。
- 連結実質赤字比率**（早期健全化基準：16.25～20%以上，財政再生基準：30%以上）
 全団体黒字であり，実質赤字は発生していない。
- 実質公債費比率**（早期健全化基準：25%以上，財政再生基準：35%以上）
 県内平均：8.0%（R2：8.4%）
 増減理由：既発債の償還終了等により，臨時財政対策債等を除いた実質的な地方債の元利償還金が減少したため，0.4ポイント改善した。
- 将来負担比率**（早期健全化基準：市町350%以上 都道府県及び政令市400%以上）
 県内平均：76.1%（R2：87.8%）
 増減理由：公営企業への繰入見込額が減少したこと等により，11.7ポイント改善した。
- 資金不足比率**（経営健全化基準：20%）
 令和3年度の決算において，全団体すべての会計で資金不足額は発生していない。

(単位：%)

区分	実質公債費比率			将来負担比率		
	令和3年度 A	令和2年度 B	増減 A-B	令和3年度 A	令和2年度 B	増減 A-B
広島市	10.9	11.7	▲ 0.8	158.9	174.7	▲ 15.8
呉市	6.9	8.1	▲ 1.2	56.0	66.7	▲ 10.7
竹原市	8.3	8.4	▲ 0.1	64.5	94.0	▲ 29.5
三原市	7.7	6.7	1.0	34.0	40.6	▲ 6.6
尾道市	6.7	6.4	0.3	18.1	30.2	▲ 12.1
福山市	1.5	1.6	▲ 0.1	-	-	0.0
府中市	9.7	9.6	0.1	66.0	73.1	▲ 7.1
三次市	6.7	6.4	0.3	30.1	44.0	▲ 13.9
庄原市	11.0	11.9	▲ 0.9	100.4	101.1	▲ 0.7
大竹市	13.8	14.9	▲ 1.1	136.8	156.4	▲ 19.6
東広島市	1.6	1.0	0.6	-	-	0.0
廿日市市	5.0	4.6	0.4	74.0	80.7	▲ 6.7
安芸高田市	12.3	12.9	▲ 0.6	83.9	94.7	▲ 10.8
江田島市	7.0	6.8	0.2	11.7	25.9	▲ 14.2
府中町	6.8	5.7	1.1	99.3	104.1	▲ 4.8
海田町	5.7	6.4	▲ 0.7	-	-	0.0
熊野町	5.8	6.3	▲ 0.5	-	14.3	▲ 14.3
坂町	3.5	3.3	0.2	-	-	0.0
安芸太田町	12.3	12.4	▲ 0.1	19.6	36.6	▲ 17.0
北広島町	13.7	14.4	▲ 0.7	57.3	69.8	▲ 12.5
大崎上島町	12.7	12.4	0.3	-	-	0.0
世羅町	9.7	10.7	▲ 1.0	6.5	13.0	▲ 6.5
神石高原町	5.6	5.7	▲ 0.1	-	-	0.0
県内平均	8.0	8.4	▲ 0.4	76.1	87.8	▲ 11.7
〃(政令市除き)	5.7	5.7	0.0	11.0	20.0	▲ 9.0
県	13.5	13.1	0.4	196.6	215.7	▲ 19.1

※県内平均は，加重平均である。

令和3年度 市町別普通会計決算の状況

(単位：百万円，%)

区 分	歳入総額			歳出総額			実質収支						
	対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率	対前年度 増減率							
広島市	726,458	▲ 7.3	240,136	0.0	62,314	33.8	714,073	▲ 8.2	411,589	8.8	85,158	15.8	2,955
呉市	113,276	▲ 11.4	30,918	▲ 0.1	22,073	11.0	107,830	▲ 13.5	59,654	9.6	12,152	▲ 6.2	4,471
竹原市	15,477	▲ 4.9	5,543	48.3	2,258	▲ 23.3	14,487	▲ 6.8	6,103	8.9	2,046	0.0	812
三原市	56,353	▲ 15.5	14,259	3.1	12,155	7.5	53,329	▲ 16.6	26,299	8.4	8,123	▲ 26.0	2,462
尾道市	69,486	▲ 11.2	18,097	▲ 1.6	16,900	13.4	68,051	▲ 12.0	34,975	12.6	6,562	▲ 21.4	933
福山市	211,360	▲ 8.2	77,394	1.8	19,211	23.8	203,253	▲ 9.4	108,743	12.9	23,977	11.7	5,179
府中市	25,624	▲ 7.2	5,140	▲ 1.6	7,116	13.0	24,568	▲ 8.3	10,567	7.6	4,676	14.2	786
三次市	41,368	▲ 10.3	7,292	2.5	15,571	4.9	39,669	▲ 11.7	17,173	12.3	6,402	▲ 19.2	1,311
庄原市	35,693	▲ 2.9	4,326	0.2	14,606	7.0	34,118	▲ 3.7	13,219	10.8	8,316	7.4	1,244
大竹市	18,213	▲ 13.2	5,340	1.2	2,066	23.4	16,871	▲ 15.9	7,199	10.6	3,059	▲ 37.9	420
東広島市	101,442	▲ 9.0	36,752	▲ 3.4	7,510	36.1	95,728	▲ 10.8	46,745	13.4	16,079	▲ 6.4	2,442
廿日市市	61,291	▲ 10.7	16,462	0.9	11,114	14.7	59,745	▲ 11.7	29,753	13.8	9,957	▲ 13.9	920
安芸高田市	23,027	▲ 3.3	3,674	▲ 3.2	8,794	5.7	21,793	▲ 5.2	9,602	7.6	3,254	48.5	929
江田島市	16,565	▲ 10.5	2,488	▲ 2.4	6,608	4.8	15,868	▲ 8.1	7,274	8.4	2,244	▲ 14.9	328
府中町	21,523	▲ 5.4	7,273	▲ 2.1	1,798	51.1	21,199	▲ 5.3	11,724	17.8	2,454	77.2	294
海田町	13,836	▲ 10.4	4,237	▲ 3.1	1,422	36.7	13,068	▲ 11.1	6,802	26.4	2,073	53.2	518
熊野町	10,975	▲ 17.4	2,450	▲ 1.3	2,687	15.4	10,488	▲ 19.0	4,670	17.4	1,286	▲ 45.8	460
坂町	8,356	▲ 12.5	2,228	1.9	1,252	33.2	7,202	▲ 18.0	3,177	10.4	1,516	▲ 0.2	230
安芸太田町	9,006	▲ 2.0	923	▲ 2.3	4,337	▲ 2.6	8,558	▲ 2.1	3,130	3.9	1,094	▲ 10.5	359
北広島町	17,694	▲ 3.3	3,171	▲ 0.8	6,513	8.9	17,139	▲ 5.1	7,189	4.1	2,534	32.7	428
大崎上島町	8,036	▲ 3.6	1,327	▲ 14.6	2,958	11.1	7,737	▲ 4.6	2,722	4.1	1,053	▲ 3.0	220
世羅町	13,940	2.5	2,161	▲ 0.7	4,851	5.6	13,320	1.6	4,653	5.1	2,972	93.7	368
神石高原町	13,693	▲ 3.9	1,156	▲ 5.4	5,414	7.7	12,565	▲ 4.6	3,226	2.5	3,237	4.5	705
計	1,632,693	▲ 8.4	492,745	0.3	239,530	16.5	1,580,659	▲ 9.5	836,187	10.2	210,225	3.5	28,774
計 (政令市除き)	906,235	▲ 9.2	252,610	0.6	177,215	11.4	866,586	▲ 10.5	424,599	11.6	125,067	▲ 3.4	25,818

(注1) 団体ごとに百万円単位で四捨五入しているため、計において一致しない場合がある。

(注2) 実質収支…歳入歳出差引額－翌年度に繰り越すべき財源

(単位：百万円，%)

区 分	経常収支比率		地方債現在高		財調・減債基金現在高		財政力指数	
		対前年度 増減		対前年度 増減率		対前年度 増減率		対前年度 増減
広島市	94.8	▲ 2.8	1,105,394	2.3	11,818	141.1	0.81	▲ 0.02
呉市	92.6	▲ 4.4	115,331	▲ 3.2	5,814	27.2	0.59	▲ 0.02
竹原市	85.9	▲ 10.1	13,771	1.6	1,459	86.8	0.64	0.04
三原市	91.3	▲ 3.9	65,268	▲ 4.4	7,354	8.6	0.54	▲ 0.01
尾道市	89.4	▲ 6.5	75,570	▲ 2.6	7,117	12.1	0.54	▲ 0.02
福山市	82.8	▲ 3.5	137,538	▲ 3.4	28,226	11.8	0.80	▲ 0.02
府中市	90.6	▲ 7.3	24,059	3.2	2,901	9.8	0.45	▲ 0.02
三次市	94.0	▲ 3.5	45,799	▲ 3.6	3,248	12.6	0.34	0.00
庄原市	92.6	▲ 3.9	38,569	▲ 0.2	3,829	4.7	0.26	0.00
大竹市	90.6	▲ 2.8	23,171	▲ 0.2	1,539	0.5	0.78	▲ 0.03
東広島市	85.0	▲ 3.3	75,621	1.3	18,354	5.3	0.85	0.01
廿日市市	89.8	▲ 4.2	70,710	0.6	6,163	19.1	0.61	▲ 0.02
安芸高田市	88.6	▲ 4.2	22,993	▲ 3.4	1,119	22.3	0.32	0.00
江田島市	91.2	▲ 3.9	17,759	▲ 3.0	5,522	10.4	0.30	▲ 0.01
府中町	92.3	▲ 5.0	25,880	4.2	1,467	11.9	0.84	▲ 0.03
海田町	81.7	▲ 3.9	9,384	▲ 2.0	2,449	8.1	0.79	▲ 0.01
熊野町	88.1	▲ 2.3	8,395	1.5	1,570	16.7	0.51	▲ 0.02
坂町	80.5	▲ 5.3	8,094	0.3	2,667	5.3	0.69	▲ 0.04
安芸太田町	86.8	▲ 6.7	10,887	▲ 3.8	3,206	18.1	0.20	0.00
北広島町	85.1	▲ 5.5	14,089	▲ 5.1	1,397	13.0	0.35	0.00
大崎上島町	86.7	▲ 2.0	10,417	2.3	2,927	13.9	0.36	▲ 0.05
世羅町	86.7	▲ 7.3	10,918	2.8	2,371	11.4	0.32	0.00
神石高原町	73.4	▲ 4.0	12,626	1.5	5,039	7.6	0.21	0.00
計	90.8	▲ 3.7	1,942,242	0.6	127,556	17.4	—	—
計 (政令市除き)	87.8	▲ 4.3	836,847	▲ 1.6	115,738	11.6	—	—

(注1) 団体ごとに百万円単位で四捨五入しているため、計において一致しない場合がある。

(注2) 経常収支比率・・・経常一般財源総額に対する経常経費充当一般財源の割合

(注3) 経常収支比率の計欄は、加重平均である。

令和3年度地方公営企業（法適用）の決算状況

(単位：百万円，%)

団体名	事業名	経常収益		経常費用 C	経常損益 (A-C) D	経常収支 比率 A / C	累積欠損金	不良債務
		A	うち営業収益 B					
広島市	水道	22,643	20,059	22,553	90	100.4	0	0
	病院	2,511	1,936	2,511	▲1	100.0	558	0
	下水(公共)	41,528	31,723	40,494	1,034	102.6	0	0
	下水(特環)	487	237	487	0	100.0	0	0
	下水(農集)	826	104	826	▲0	100.0	0	0
	下水(特排)	91	12	91	0	100.0	0	0
	計	68,086	54,071	66,962	1,124	101.7	558	0
呉市	水道	5,732	5,333	5,333	399	107.5	0	0
	工水	557	527	497	61	112.1	0	0
	病院	680	507	732	▲52	92.9	415	0
	下水(公共)	6,489	4,803	6,015	474	107.9	0	0
	下水(特環)	774	241	761	12	101.7	0	0
	計	14,232	11,411	13,338	894	106.7	415	0
竹原市	水道	916	887	740	177	123.8	0	0
	下水(公共)	568	173	568	0	100.0	234	0
	下水(特環)	16	3	16	0	100.0	42	0
	計	1,500	1,063	1,324	176	113.3	276	0
三原市	水道	2,999	2,392	2,539	460	118.1	0	0
	下水(公共)	2,874	1,218	2,561	313	112.2	0	0
	下水(特環)	129	43	120	9	107.5	0	0
	下水(農集)	93	22	88	5	105.7	0	0
	下水(漁集)	64	16	65	▲1	98.5	14	0
	下水(特排)	59	26	100	▲41	59.0	86	82
	計	6,218	3,717	5,473	745	113.6	100	82
尾道市	水道	3,663	3,368	3,456	206	106.0	0	0
	病院	14,055	11,470	13,889	166	101.2	420	0
	下水(公共)	1,518	777	1,470	48	103.3	133	0
	下水(特環)	167	75	166	1	100.6	2	0
	計	19,403	15,690	18,981	422	102.2	555	0
福山市	水道	8,276	7,676	6,677	1,599	123.9	0	0
	工水	3,000	2,765	2,092	908	143.4	0	0
	病院	21,905	18,242	20,132	1,773	108.8	0	0
	下水(公共)	11,701	7,534	10,026	1,675	116.7	0	0
	計	44,882	36,217	38,927	5,955	115.3	0	0
府中市	水道	673	593	606	67	111.1	0	0
	病院	1,311	1,041	1,291	20	101.5	906	0
	下水(公共)	882	286	669	213	131.8	0	0
	下水(特環)	43	18	31	12	138.7	0	0
	計	2,909	1,938	2,597	312	112.0	906	0
三次市	水道	1,680	999	1,672	7	100.5	0	0
	病院	9,957	7,716	9,151	805	108.8	0	0
	下水(公共)	1,006	270	1,005	0	100.1	0	0
	下水(特環)	433	75	433	0	100.0	0	0
	下水(農集)	606	128	606	0	100.0	0	0
	下水(特排)	62	20	62	0	100.0	0	0
	計	13,744	9,208	12,929	815	106.3	0	0
庄原市	水道	1,061	613	1,002	59	105.9	0	0
	病院	1,488	989	1,338	149	111.2	398	0
	下水(公共)	684	245	674	11	101.5	0	0
	下水(特環)	178	43	170	8	104.7	0	0
	計	3,411	1,890	3,184	227	107.1	398	0
大竹市	水道	526	442	493	33	106.7	0	0
	工水	509	471	396	113	128.5	0	0
	下水(公共)	958	679	881	78	108.7	0	0
	計	1,993	1,592	1,770	223	112.6	0	0
東広島市	水道	4,748	4,103	4,248	500	111.8	0	0
	下水(公共)	4,499	3,576	4,014	485	112.1	0	0
	下水(特環)	179	29	180	▲1	99.4	83	0
	下水(農集)	198	46	201	▲3	98.5	73	0
	その他	40	17	40	▲0	100.0	1	0
	計	9,664	7,771	8,683	981	111.3	157	0
廿日市市	水道	2,805	2,214	2,718	87	103.2	0	0
	観光(宿泊)	12	0	51	▲39	23.5	853	0
	下水(公共)	3,163	1,568	3,097	66	102.1	0	0
	下水(特環)	216	44	258	▲42	83.7	56	0
	下水(農集)	38	5	52	▲14	73.1	12	0
	その他	55	20	55	1	100.0	0	0
	計	6,234	3,831	6,176	58	100.9	921	0
安芸高田市	水道	952	455	901	51	105.7	0	0
	下水(公共)	349	69	228	121	153.1	0	0
	下水(特環)	516	104	473	44	109.1	0	0
	計	1,817	628	1,602	215	113.4	0	0
江田島市	水道	790	711	712	78	111.0	0	0
	下水(公共)	387	124	387	0	100.0	0	8
	下水(特環)	548	122	548	0	100.0	0	0
	下水(農集)	179	30	179	0	100.0	0	0
	計	1,904	987	1,826	78	104.3	0	8
府中町	下水(公共)	1,242	864	1,246	▲4	99.7	0	0
海田町	水道	457	431	426	31	107.3	0	0
熊野町	水道	499	460	439	59	113.7	0	0
安芸太田町	病院	2,059	1,614	1,927	132	106.9	0	0
北広島町	水道	559	250	450	108	124.2	0	0
	病院	10	0	10	0	100.0	0	0
	計	4,826	3,619	4,498	328	107.3	0	0
大崎上島町	水道	448	265	454	▲5	98.7	0	0
	水道	349	196	383	▲33	91.1	151	0
	下水(公共)	154	22	179	▲25	86.0	228	0
	下水(特環)	24	3	29	▲5	82.8	51	0
	計	527	221	591	▲64	89.2	430	0
神石高原町	病院	351	19	351	0	100.0	0	0
世羅中央病院企業団	病院	3,177	2,565	3,176	2	100.0	180	0
	総計	205,379	156,728	192,896	12,483	106.5	4,896	90

注) 項目ごとに百万円単位で四捨五入しているため、差引等において一致しないことがある。

【参考】健全化判断比率等の算定方法

$$\text{実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計等の実質赤字}}{\text{標準財政規模}}$$

実質赤字 ～ 歳入から歳出及び翌年度に繰越すべき財源を差し引いた実質収支額が負となった額
 標準財政規模 ～ 税収や地方交付税等の一般財源の標準規模

$$\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{連結実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$$

連結実質赤字 ～ 団体に属する全会計の実質収支等を連結し合算した額が負となった額
 標準財政規模 ～ 税収や地方交付税等の一般財源の標準規模

$$\text{実質公債費比率} = \frac{(\text{元利償還金} + \text{準元利償還金}) - (\text{特定財源} + \text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}$$

(3ヵ年平均)

元利償還金 ～ 一般会計等の地方債に係る元利償還金
 準元利償還金 ～ 公営企業や一部事務組合等の地方債の元利償還に係る一般会計等の負担金等
 標準財政規模 ～ 税収や地方交付税等の一般財源の標準規模

$$\text{将来負担比率} = \frac{\text{将来負担額} - (\text{充当可能基金額} + \text{特定財源見込額} + \text{地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}$$

将来負担額 ～ 一般会計等が将来負担すべき負債（地方債現在高、債務負担行為支出予定額、退職手当支給額等）
 標準財政規模 ～ 税収や地方交付税等の一般財源の標準規模

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金不足額}}{\text{事業の規模}}$$

資金不足額 ～ 法適用事業においては、流動負債及び建設改良費等以外の経費の財源に充てるために起こした地方債の現在高から流動資産を差し引いた額。
 法非適用事業においては、歳出、翌年度に繰越すべき財源及び建設改良費等以外の経費の財源に充てるために起こした地方債の現在高から歳入を差し引いた額。

※算定対象

区分	一般会計等	公営企業会計	一部事務組合 広域連合	土地開発公社 第3セクター等
実質赤字比率	←→			
連結実質赤字比率	←→	←→		
実質公債費比率	←→	←→	←→	
将来負担比率	←→	←→	←→	←→
資金不足比率		←→ 会計毎		